

◆御寄付をありがとうございました！！

御寄付をありがとうございました！！ 2022年4月～（順不同）

- ・心光寺 清水道隆様 ・いちかわ歯科医院 市川裕之様 ・アリとキリギリス様
 - ・小田原 足柄地域連合様 ・富士フィルム労働組合神奈川支部様 ・李富鉄様
 - ・NPO法人報徳食品支援センター様 ・下府中地区民生委員児童委員協議会様
 - ・カトリック小田原教会様 ・弁護士法人 小田原三の丸法律事務所様
 - ・ありんこホーム家族会様
 - ・バザー、第3ありんこ販売などでつり銭を御寄付頂いた方々
- ※この他 一品物、古着、布製品、手作りマスク等々ご寄付いただき、バザーや市役所売店、各事業所の売店で販売させていただきました。
- 利用者の幸せにつながるよう大切に使用させていただきます。

賛助会員の皆様

2023年3月現在（順不同）

【個人会員】

- ・梅原英則様 ・堀口美千子様 ・大木和子様 ・矢吹久美子様 ・香川隆彦様
- ・杉本由美子様 ・青木晴子様 ・浅野めぐみ様 ・堀美佐様 ・小谷英次郎様
- ・上倉富子様 ・佐藤ミツ子様 ・杉山幸雄様、久恵様 ・齋藤英滋様 ・武田成弥様
- ・高砂美代子様 ・飯山房治様 ・根岸知子様 ・高田求様 ・戸田富美子様
- ・露木とし様 ・山本千紅様 ・堀井将弘様 ・大村学様 ・和田雅代子様
- ・加藤由加里様 匿名希望の方2名様

【団体会員】

- ・旬工房様 ・(有)立田印刷所様 ・SDA小田原キリスト教会様
- ・弁護士法人 小田原三の丸法律事務所様

法人運営のため大切に使用させていただきます。

賛助会員募集！！

賛助会費（1年）

- 1) 個人：1口 2,000円（1口以上）
- 2) 法人・団体：1口 5,000円（1口以上）

お気持ちのある方は各事業所までご連絡ください。

よろしく願いいたします。

※ 振込先 郵便局 通常貯金

記号 10270

番号 15932091

名前 トクヒ)オダワラニジノカイ

連絡先

ありんこホーム（就労継続支援B型）

小田原市浜町 4-29-1

TEL0465-24-5486 Fax0465-20-5477

第2ありんこホーム（就労継続支援B型・生活介護）

小田原市扇町 2-31-5 扇町マンション1階

TEL0465-35-8393 Fax0465-42-9290

第3ありんこホーム（地域活動支援センター）

小田原市鴨宮 3 2 8 TEL/Fax0465-48-8269

ありんこホームふじみ（就労継続支援B型）

小田原市南鴨宮 3-6-11 TEL/Fax0465-46-9109

ありんこホームすまいる（グループホーム）

小田原市南鴨宮 1-14-27 TEL/Fax 0465-48-5503

ありんこホームあいらす・なでしこ（グループホーム）

小田原市鴨宮 522-2

TEL/Fax0465-46-6427（あいらす）

TEL/Fax0465-46-6438（なでしこ）

ありんこホームふれんど（相談支援センター）

小田原市鴨宮 3 2 8 TEL/Fax0465-48-9095

第311号

令和5年4月1日発行

ありんこだより



ホームページアドレス
http://www.arinkohome.com/



◆新年度に向けて

特定非営利活動法人 おだわら虹の会
理事長 高橋 直美



コロナ禍の中で生活様式が変わった3年余りの歳月でした。おだわら虹の会（ありんこホーム）は利用者たちが、その人らしく地域の中で幸せに輝いてほしいという願いのもとに、地域社会との連携・繋がりを大切にしてきました。どんな状況の中でも希望を持って、人と人との繋がりを大切に活動しています。コロナ禍という厳しい状況でありましたが、コロナ対策をし、工夫しながら活動した歳月でした。苦難の時だからこそ、心の結束が強まりました。

再開された小田原市主催のツデーマーチや小田原市の一斉総合防災訓練に事業所ごとに参加することで、少しずつ元気を取り戻しています。

その他にも多くの方々のご協力でさまざまな活動を行うことができます。

茶道の酒井先生のご協力では、ありんこ独自に開催したXmasお茶会で、おもてなしの心を学ぶことも出来ました。また農福連携（農家さんと連携して農作業にでかける）では、青空の下での農作業に取り組み、一人ひとりの個性を発揮して、メンバーに笑顔が戻ってきました。さらに環福連携（環境と福祉の連携）では、竹林の整備をし、その竹を利用しての竹細工製品（ボランティアさんの指導でありんこ自主製品になっています。）の考案をしています。メンバーたちは竹トンボ、竹灯籠などの製品作りに励んでいます。それぞれの個性がうまく仕事に結び付き、楽しそうに取り組んでおり、コロナ禍で受注の作業が減る中でも、工賃アップにつながりました。

法人独自としても、ありんこ祭り、ありんこ忘年会、一泊研修旅行など、中止が続いた従来のイベントも徐々に再開していきたいと思えます。

【今年度の目標】「地域との連携を大切に！」

- ・農福連携、環福連携のネットワークの活用
- ・災害時の対策
- ・重度障がい者の人たちのグループホーム開所

いろいろな課題がありますが、誰もが地域で幸せに生活出来るように、共生社会を力を合わせてみんなで作っていきます。

◆新しい車が来たよ！！

この度、日本財団様より送迎車両（8人乗り）の日産 セレナを寄贈いただき、3月28日に真新しい車が「おだわら虹の会」（第3ありんこ）に届きました。これまで「ありんこ」には車いす対応は数台ありましたが、普通車の台数が少なく、朝夕の送迎や行事のときの移動など配車や送迎ルートを考えるのに四苦八苦していました。昨今は車いす利用でない利用者の送迎希望者が増え、それに対応できる車両が不足していたため、入所を待機してもらったり、ご家族に送迎をしていただいたりするなどの対応をしてきました。しかしこれからは誰もが安心して通所ができるようになり、イベントなど何処へでも移動ができるようになります。法人として日本財団様には過去にも福祉車両を寄贈いただき、今回で5台目となります。各車両とも朝夕の送迎や作業現場への移動、荷物の搬入・搬出などなど、毎日毎日小田原市内を走り抜けています。

毎回申請するたびに助成して頂き、法人として大変助かっています。日本財団の皆様本当にありがとうございました。



◆第2 ありんこ NEWS

昨今、共生社会と耳にすることが増えたと思います。第2 ありんこホームでは、就労継続支援のメンバーと生活介護のメンバーが協力して竹製品（一輪挿し、ペン立てなど）を製作しているのです、その様子をお知らせしていきたいと思います。法人内で取ってきた長い竹を、就労のメンバーがのこぎりで、竹の太さなどにより一輪挿し、プランター、ペン立て等、作成する製品の長さに切って整えていきます。



この後、竹の周りに付いている汚れや油分をカセットコンロの炎であぶって表面処理をします。表面処理は生活介護のメンバーと職員が一緒にしていますが、焦がさないように慎重な作業が必要です。とても真剣な表情で取り組んでいます。

焼いた竹に、ステンシル版画で絵付けをして仕上げていきます。メンバーと職員が曲がった表面に型を張り付け、絵の具の付いたスポンジ筆で叩くように色を入れて絵付けをして行きます。生活介護のメンバーはとても楽しそうにスポンジ筆を動かしながら作業をしていました。

絵付けの後は、色が落ちないように、ニス塗って仕上げです。ここも生活のメンバーと職員と一緒に協力しながら丁寧に仕事をしています。売り場で竹製品を見つけたらぜひ手に取って仕上がりを見てください。



ありんこホーム共同生活援助(グループホーム)NEWS

すまいる及びあいりす・なでしこにて避難訓練を行いました。それぞれ、すまいるは、2月22日(水)夕方、あいりす・なでしこは、2月9日(木)夕方に行いました。

この訓練は半年に1回行っています。入居者はスムーズに避難出来ています。訓練に立ち会った世話人たちもしっかり誘導等も出来ていました。訓練後は、反省会も行っています。

◆かなごて流域祭&おひさま SDGs マルシェに参加！！

去年下曾我の梅の里センターでの、1回目のかなごて流域祭に参加し、2回目のかなごて流域祭&おひさま SDGs マルシェが開催され、今回も参加することとなりました。コロナ禍の中で久しぶりに大きなイベントの開催。神奈川県西部の2市8町(小田原市・南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町・箱根町・真鶴町・湯河原町)の他に横浜市・川崎市等で生活・活動をしている人達や団体が集まり、それぞれの地域の活性化と連携を考え、「環境」をテーマにしたイベントも催されました。

今回は会場が小田原城址公園二の丸広場という大きな会場での開催ということもあり、色々な飲食のお店をはじめ沢山出店されていたので、多くの家族連れや開催趣旨に興味をもたれた人達で賑わっていました。



◆下曾我の梅まつりでの活動！！

下曾我で開かれた梅まつりに合わせて、ありんこホームでも様々な形で活動をしました。ふだん施設外就労で作業している鋳物研究所では2/5(土)から3/6(月)までの期間に、ありんこ自主製品の販売を行いました。鋳物研究所主催で2/23(木)に行われたミニコンサートでは、満開の梅の花の下、オカリナの演奏やコーラスの鑑賞をしました。また、自然豊かな鋳物研究所の畑で育った野菜が販売されました。その他にも育てた大根で作ったたくわんを販売したり、食堂ではカレーライスや天ぷら定食を提供したりするお手伝いもしました。毎日のようにたくさんのお客さんに来ていただき、とても有意義な時を過ごすことができました。

サポテン工房さんでも自主製品を販売させて頂きました。サポテン工房さんは上曾我にある古民家風の素敵な建物です。屋内やお庭に様々な団体が製造した商品が並べられていました。ありんこホームも竹灯籠やイラストタオルなどを販売させて頂きました。

◆たくさんの貴重な体験をしました～体験農福活動報告～

小田原市の委託を受けた「一般社団法人 つむぐ、つづる。」さんを中心に行われた「体験農福連携」の活動に参加しました。「農福連携」では、労働力の不足に悩む農家と、就労機会を求めている福祉事業所が連携しながら活動を行います。今回は沼代にある「あきさわ園」さんの果樹園で、「小田原支援センター」さんと「農業ステーション」さんと一緒に作業をさせて頂きました。



剪定されたキウイの枝の片付けでは、切り落とされた枝を集めるだけではなく、その枝をチップパーという機械で細かく砕く作業も体験させて頂きました。安全に作業を行うため、「あきさわ園」の秋澤さんから事前に注意点についてのお話がありました。機械に枝を投入する際には「横から入れる」「ストッパーより奥に手を入れない」など作業方法を教えていただき作業開始。チップパーの大きな音や枝を砕くパワーに驚きながらも、注意点をしっかり守りながら作業しました。

その他にも湘南ゴールドの収穫やタマネギ畑の除草などを行いました。作業の体験もさることながら、「小田原支援センター」さんや「農業ステーション」さんの利用者さんたちと一緒に活動できたことも貴重な体験でした。ふだん接したことがない人と場を共有し、活動をとにもすることは、農福連携の目的の大切な一つかと思われま。

◆「宿泊訓練」を再開しました

3年ほど前まで男女それぞれ4名ずつで毎月1回行っていた宿泊訓練(作業終了後、宿泊準備を夕食、入浴等をし、事業所で宿泊。翌朝朝食後寝具や部屋の後片付けを清ませ、通常の作業をする)ですが、担当職員の退職や新型コロナ感染拡大の影響で、開催を中止していました。今年に入り新型コロナ感染もだいぶ落ち着いてきたことから、2月より宿泊訓練を再開することになり、担当職員と参加するメンバーを大幅に入れ替え、宿泊場所も尊徳記念館に変えて行いました。

今回から参加した、小寺秀美さんに感想を聞いてみました。『今回、はじめて宿泊訓練に参加しました。最初なので緊張して、不安な面もありましたが、他の利用者や職員から教わり、みんなと協力しながら楽しく過ごす事ができました。朝起きたら、とても綺麗な朝日が見ることができました。朝食は事前に考えたメニューを作り、みんなで美味しくいただくことができました。また、機会があれば参加してみたいと思いました。』

◆コロナに負けるな！！

※富士フィルム労働組合様より除菌スプレーを頂きました

去る12月中旬に富士フィルム労働組合様より自社製品の「Hydro Ag+(ハイドロ エージープラス) アルコールスプレー」を寄贈して下さるとのありがたい連絡がありました。昨年に引き続き、20セット、240本が1月末に届きました。早速グループホームを含む7事業所で分け、毎日の施設内の除菌作業に使わせていただいています。

富士フィルム労働組合様には昨年、一昨年と手指用の消毒液や除菌スプレーをたくさん寄贈して頂き、年末には毎年義援金をお届けいただくなど、大変お世話になっております。

コロナ禍で沈みがちな雰囲気の中、「コロナに負けるな！！」の応援メッセージと受け止め、これからもみんなで頑張っていこうと、心新たにしました。

富士フィルム労働組合の皆様、新型コロナウイルス感染拡大の予防対策に何よりのものをたくさん贈っていただき、本当にありがとうございました。

